

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年11月12日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年11月12日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【6号機 非常用ディーゼル発電機(B)補機冷却系サージタンク水位計指示不良について】 当直員が、6号機 非常用ディーゼル発電機(B)補機冷却系サージタンク水位計の指示値が、約350mmの位置で固着状態となっていることを確認。 原因は、機械式指示計単体の不具合と推定。 当該機器は、安全装置の制御回路には使用しておらず、水位の監視は、別の指示計で監視可能であるため、非常用ディーゼル発電機の機能には影響なし。 今後、当該指示計点検の必要性の有無を検討予定。</p>	GⅢ	11月8日
2	<p>【3号機 非常用ディーゼル発電機排気管除却工事の足場組立作業における負傷について】 協力企業作業員が、3号機 非常用ディーゼル発電機の排気管除却工事の足場組立において、針金による固縛作業中、しゃがみ込んだ姿勢から立ち上がる際、左肩を負傷。 入退域管理棟救急医療室で医師の診察により「左肩関節前方脱臼」と診断され、整備処置等を実施した。 今後、再発防止対策を検討予定</p>	GⅢ	11月8日
3	<p>【6号機 増設淡水化装置運転中の取水ポンプ故障警報発生について】 6号機 増設淡水化装置運転中、中央制御室の監視盤に当該設備の故障警報が発生した。 現場状況を確認したところ、取水ポンプ(タンク内設置の水中ポンプ)故障の警報発生および増設淡水化装置の停止を確認。 今後、原因調査を行い不具合箇所を特定し、再発防止対策を検討予定。 なお、5/6号機 建屋滞留水処理については、別の浄化ユニットにて実施していることから影響なし。</p>	GⅢ	11月10日